

No.64 20210305 サザンカについて(ツバキとの比較)

開花時期は終わってしまったが、サザンカについて整理しておくことを失念していたので、季節外れながらまとめてみた。

1. 日本原産の樹木であるのに対して、ツバキは台湾や朝鮮半島にも自生する。
2. ツバキ科ツバキ属 ツバキも同じ
3. どちらも常緑小高木
4. 花期は10～12月 秋に咲き始めるのに対して、ツバキの開花の方が遅く、12～3月に開花するので区別はつく。
5. サザンカは花の咲き方と散り方に特徴があり、平咲きした後、花びらがぼらぼらに散ってゆく。これに対してツバキはカップ状の花が丸ごとポトリと落ちる。この性質から、ツバキは「首が落ちるので縁起が悪い」と武士には嫌われたとのエピソードが残っているようだ。
6. サザンカには、葉の付け根の葉柄に細かな毛が生えているが、ツバキには毛がない。
7. 葉も花も、ツバキに比べると、サザンカの方がどちらも小ぶりである。
8. 果実もサザンカの方が小さい。
9. サザンカの原種の花は白色であるが、栽培品種が多く、ピンクや八重咲も多くみられる。
10. サザンカの黄色い雄シベはツバキのようにまとまらないで離れてつく。
11. 種子から油がとれるのはツバキと同じである。
12. メジロやヒヨドリが蜜を求めてやってくるのはツバキと同じである。



サザンカの花



サザンカの葉



ツバキの花